

日本のりんご

千葉県千葉市立検見川小学校 五年 平井唯愛

日本のくだものを思いうかべた時に、私が一番に思いついたのはりんごだ。なぜなら、小さいころから、家や保育所、学校など、様々な場所で口にできて、なじみがあるからだ。

長野に住む親せきが、りんごをたくさん送ってくれることもある。お母さんがそのりんごを使って作るアップルパイも大好きだ。

りんごの好きなのところは、あまくてさっぱりとした味と、シャキシャキとした食感、また、みずみずしさを感じられるところだ。

あまいものがほしい時も、体調がすぐれず、食よくがない時も、さっぱりとおいしく、どんな時でも食べることができる。

日本のりんごは、主に青森県や長野県で多く生産されている。「つがる」や「ふじ」、「シナノゴールド」など、様々な品種があり、それぞれ、あまさや酸味の強さの特ちょうを持っている。中でも、私が好みのりんごは、「ふじ」だ。「ふじ」は、香りとあまみが強く、ほどよい酸味もある。そして、果汁とみつも多い。貯ぞう性にもすぐれ、ほぼ一年中食べることが出来る。日本だけでなく、世界でも広く栽培され、世界中で愛されている。

私が、おいしいりんごを食べることが出来るのは、りんごを作っている農家の人のおかげだ。私やみんながおいしいりんごをこれからも食べていくために、私が出来る事を考えてみた。それは、りんごをたくさん消ひして、農家の人などを応援していくことだと思う。そのために、りんごを上手に消ひしていく工夫をしたい。たとえば、りんごを切った後は、塩水につけ、変色や、味がおちることを防いで、時間がたつても、おいしく食べたい。また、食べきれないりんごがあった時には、りんごジャムなどに加工して食べようと思う。そういう工夫も楽しみながら、りんごをおいしく食べていきたいと思った。